

# ろうさい ニュース

皮膚科の午後診察を  
開始しました。  
月曜日・木曜日  
14:00~16:00

浜松労災病院 地域医療連携 広報紙 第328号 平成23年12月号

## ■ 平成23年度 介護講座の開催報告について

11月28日(月)平成23年介護講座が開催されました。39名の参加があり食品のサンプルの配布、嚥下食の試食等もあり、盛況のうちに終了しました。以下はプログラムの一部をご紹介します。



廻医師

### 1 「口腔ケア」口腔外科医師 廻 俊一

- ・高齢者に多い口臭の主な原因は、歯と歯茎の間に細菌が溜まり発生する場合があります。日々のブラッシングケアがとても大切です。



### 2 「食事の介助・介護」リハ科部長 杉山 宏行

- ・摂食・嚥下の基礎知識、嚥下障害を疑う兆候、誤嚥の予防と嚥下障害への対応法(食事形態、姿勢、食事のスピード、むせたときの対応)等について講義を行いました。



杉山部長



原田室長

### 3 「足腰を丈夫に保つためのちょっと役に立つ栄養のはなし」 栄養管理室長 原田 雅子

- ・骨粗鬆症を予防するためには、食事や運動など生活習慣の改善が必要です。特に食事では、偏食や過度のダイエットはリスクを高めます。また、喫煙や過度の飲酒も控えましょう。骨の主成分でもあるカルシウムを上手に摂って、木漏れ日程度の日光浴と運動でこれらをしっかりと吸収させましょう。



### 4 「ご自宅で行う床ずれの予防について」

#### 皮膚排泄ケア認定看護師 藤本 依里

- ・褥瘡とは何かを知っていただくところから、ご自宅でできる予防法までお話しさせていただきました。褥瘡予防の基本である体圧・ずれを軽減することや皮膚の清潔を保つこと、栄養管理の大切さをご理解いただければ幸いです。



藤本看護師



鈴木理学療法士

### 5 「転ばぬ先の杖と知恵」リハ科 鈴木由美子

- ・高齢者の転倒は、骨折を引き起こしやすく、寝たきりになる危険性があります。今回転倒予防のための環境づくりや体操、杖のつき方等を紹介させていただきました。



病院の理念 「仁愛」 ヒューマニズムとアカデミズム

## ■ 浜松労災病院診療科紹介（その1）

### ・内分泌代謝内科

1 特色	いわゆる”現代病”として糖尿病は増加しています。肥満・高血圧・脂質異常症を合併することも多く、メタボリック症候群も含めて、個々人の生活習慣にも視野を広げた治療法を提示させていただきます。また、甲状腺疾患についてもご相談をお受けいたします。		
2 症例	糖尿病、脂質異常症、高血圧（原発性アルドステロン症を含む）、肥満 甲状腺機能亢進症（バセドウ病を含む）、甲状腺機能低下症 慢性甲状腺炎（橋本病を含む）、急性・亜急性甲状腺炎、甲状腺腫、その他		
3 スタッフ	部長	オオイシ ヒロコ 大石 裕子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会認定内科医</li> <li>・日本内分泌代謝内科学会内科専門医</li> <li>・日本糖尿病学会専門医</li> </ul>
	副部長	タカハシ ノリオ 高橋 典男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本内科学会認定内科医</li> <li>・日本内分泌代謝内科学会内科専門医</li> <li>・日本糖尿病学会専門医</li> </ul>

### ・腎臓内科

1 特色	腎臓内科には1名のスタッフが診療に当たっています。		
2 症例	<p>外来では主に腎機能障害のある症例の高血圧治療などを中心に行っています。また他院で治療を受けられている症例の治療方針の相談も承っています。</p> <p>入院では主に次の3つの治療を行っています。</p> <p>①保存期腎不全の症例における維持透析療法導入 当院外来で治療を受けていた方、他院より維持透析導入目的で紹介された方で末期腎不全を呈していると判断された症例において維持透析療法導入を行っています。それに伴いシャント血管の作成も基本的に当科にて行っています。</p> <p>②他院で維持透析療法を受けている症例のバックアップ透析 当院透析室はベッド数が7台と少ないため、維持透析患者の紹介はお受けできませんが、急性期疾患を発症された維持透析の患者の受け入れ、入院中の維持透析療法を行っています。</p> <p>③急性血液浄化 維持透析療法を行っている症例以外でも急性血液浄化療法が必要と判断された症例においてこれを行っています。当院透析室で行われている血液浄化療法は血液透析療法、血液濾過透析療法、持続式血液濾過透析療法のほか、血漿交換療法、エンドトキシン吸着療法、急性薬物浄化療法、白血球除去療法、ビリルビン吸着療法などを行っています。</p>		
3 スタッフ	部長	オオタ タカユキ 太田 孝行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業医日本医師会認定</li> </ul>

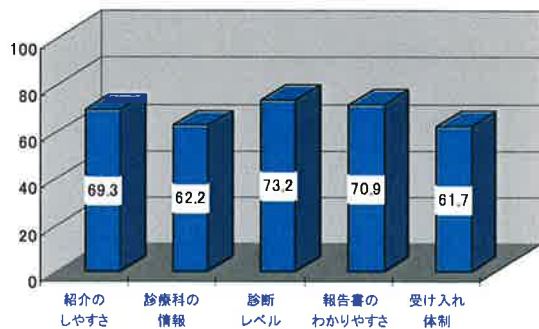
### ・神経内科

1 特色	神経内科は簡単に言えば、大脳の神経細胞から脊髄、末梢神経、筋肉と連絡している神経組織に器質的病変（神経組織が壊れる）が起こる病気を診る診療科とお考え下さい。これらの神経組織は主として体を動かすことと、感覚を伝える働きをしています。したがって神経疾患の多くの訴えは、体が動かなくなるという運動の異常か、びりびりするなどの感じ方がおかしいといった感覚の異常を訴えていることが多くなります。そのほか大脳の障害による認知症だとかけいれん（てんかん）なども診ています。		
2 症例	脳血管障害（脳梗塞、脳出血など）、感染症（髄膜炎、脳炎など） 変性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患、認知症など） 脊髄疾患（脊髄炎など）、末梢神経疾患（多発神経炎、ギランバレー症候群など） 筋疾患（多発筋炎、重症筋無力症など）、脱髄性疾患（多発性硬化症など） 頭痛（偏頭痛、緊張性頭痛など）、発作性疾患（てんかんなど）等		
3 スタッフ	部長	トコナミ フサオ 床並 房雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本神経学会認定専門医</li> <li>・日本内科学会認定医</li> <li>・産業医学基本講座修了認定（ディプロマ）</li> <li>・臨床研修指導医</li> </ul>

## ■ 病病・病診連携サービス実態調査の結果について

11月に実施いたしました病病・病診連携サービス実態調査におきまして、90名の先生方から御回答をいただきました。先生方には調査に御協力いただきまして誠にありがとうございました。その中から御意見の一部を御紹介いたします。

病病・病診連携サービス満足度調査結果(100点満点)



### (評価する御意見)

- ・入院、手術の必要な患者さんを引き受けて頂き感謝しています。
- ・貴院には信頼できる医師が多いので貴院近くの患者には、貴院にて診療を受けるよう勧めております。
- ・17時以降の受付、対応が良いので紹介しやすくとても助かります。
- ・こちらは老健ですが、今のままで満足しています。
- ・病診連携室には大変親切にいただいています。ありがとうございます。

### (御意見・御提案)

- ・退院時(逆紹介)の折には、どのようなことに注意してほしいか教えてほしい。
- ・連携がスムーズに行くような情報交換の機会を年1回でもよいので開いていただけると、顔の見える関係ができると思います。
- ・救急受診時の医療情報を簡単でいいから、正確に患者に持たせてほしい。
- ・検査結果は、コピーを必ず患者自身にもたせて欲しい。
- ・二次救急当番日をお願いしても断られたり、診療までに時間がかかるので他病院へと言われたことがあります。
- ・検査情報(結果)の共有宜しく願います。

※ 今回のいただきました貴重な御意見・御提案につきましては、真摯に受け止め、改善に向け努力して参ります。今後とも浜松労災病院をよろしく願い申し上げます。

地域医療連携室

## ■ 地域医療連携室より

連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。恐縮ですが、当院所定の紹介状様式をご使用頂き、予約決定後、FAXにて当連携室宛てに送信頂きますようお願い申し上げます。また、紹介患者さんには、紹介患者専用受付窓口⑨番を訪ねていただくようにご案内のほどお願い申し上げます。

担当 門本、鈴木

## ■ 各診療科より

- ・消化器科は、しばらくの間非常勤医師のみの対応となります。当分の間、金曜日は休診になります。
- ・総合内科の診療は火、水、木の8:30~10:30となります

- 遠鉄バスをご利用される場合  
浜松駅バス乗り場10番より、  
・蒲小沢渡線(系統番号 71,74,78)  
労災病院下車
- ・労災・篠ヶ瀬線(系統番号 85)  
労災病院下車
- ・笠井線(系統番号 70)子安下車、  
徒歩 10分
- ・磐田線(系統番号 80)子安下車、  
徒歩 10分

- 東名高速道路をご利用される場合  
・浜松ICより 20分
- タクシーをご利用される場合  
・JR浜松駅より約 15分

独立行政法人 労働者健康福祉機構

# 浜松労災病院

地域医療連携室

〒430-8525

浜松市東区将監町 25

TEL 053(411)0366

FAX 053(411)0315

受付時間 8:15~18:00